



青山まこと

議会報告2023年12月号

ごあいさつ

調布市議会議員の青山まことです。本年6月より議員となり、勉強の日々を送っています。この度第4回定例会が終わりましたので、私が行いました一般質問を中心に、市政をご報告いたします。お読みいただければ幸いです。

プロフィール

調布市議会議員
(一期目：チャレンジ調布所属)
総務委員会
調布飛行場等対策特別委員会
広報委員会
都市計画審議会 所属

令和5年度第四回定例会トピックス

低所得世帯に対する支援を決定!!

低所得世帯

※世帯の詳細は市HP

1世帯

7

万円

低所得
子育て世帯

※世帯の詳細は市HP

児童1人

5

万円

を給付

市内事業者に燃料費、電気、ガス料金の補助（20%）を実施!!

法人

最大

30

万円

個人事業主

最大

10

万円

を補助



令和5年度第四回定例会一般質問のご報告

青山の 提案

調布市とカナダ・ケベック州の包括連携で、若年層の国際人物交流を推進

一般質問要約



青山質問

調布市の学校教育におけるグローバル人材の育成について、どのような具体的な取り組みが行われているか？

外国語指導助手（ALT）を配置し、指導の充実を図る、tokyo global gateway green springsでの英語体験を行う、外国人留学生や大使館との交流など取り組みを推進している。引き続き、さまざまな教育活動を通じ、グローバル社会で活躍できる人材を育成していく。

調布市

市の回答



青山質問

学校教育におけるグローバル人材の育成は、非常に頼もしいものとなっている。国際交流を自治体として多様な形で後押ししていく必要性を感じている。調布市でも、「調布市とカナダ・ケベック州の包括連携に関する共同宣言」があるが、どのような相互交流の取り組みがなされてきたか、その現状と展望は？

現状、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」におけるケベック州の映画上映やケベック文化に触れるイベントなどといった施策により、コロナ禍の中であっても継続的に相互交流の取り組みがなされている。

調布市

市の回答



青山質問

具体的な部分としては確認できた。一方で、調布市制施行60周年の際には長友市長ご自身が共同宣言をされ、強い思いがあると拝察。市とケベック州との連携についてどのような市長の思いをお持ちであるのか。

世界有数の「映画のまち」と言われるケベック州と連携することで、経済的な発展を図るとともに、文化的な交流等多様な事業展開を期待し、包括連携に至った。一方で国際交流に関し、市民と議会が許せば、ケベックにとらわれることなく、英語圏の都市との若年層の人物交流に支援を行うことも一案。

調布市長

市長回答



青山まとめ

「相互に使節団を送り合うような形の人物交流」を進めていくことが今後の国際交流発展の方向性である。調布市制施行70周年の際にこの連携がどのような形で発展していったのか楽しみ。

青山要望

今後のケベックをはじめとした文化交流では若い世代が「相互に使節団を送り合うような形の人物交流」を進めていくことで、国際交流の好循環を生んでいけるようにしたい